



2ヶ月が過ぎて見えてきた、子供達の「伸びしろ」

新学期の緊張もほぐれ、お子さんが学校生活を自分らしく楽しめるようになってきた頃ではないでしょうか。この時期に大切にしたいのが、学習と生活の土台となる「規律」です。

「規律」と聞くと少し堅苦しく感じるかもしれませんが、これはお子さんが安心して学び、自信を持って社会へ踏み出すための「一生ものの基礎力」になります。今月号では、ご家庭と一緒に大切にしたいポイントをぎゅっとまとめました。



1. 学力がぐんぐん伸びる「学習のあと押し」

学校でのルールをご家庭でも少し意識していただくだけで、お子さんの集中力はさらに高まります。

「自分で準備」が自信の第一歩

前日に翌日の準備を整えることで、安心して授業に臨めます。「忘れ物なし」は、落ち着いて勉強するための魔法です。

「目・耳・心」で聴く

お家でも、お子さんの話をしっかり聴く時間を大切にしてみてください。「聴いてもらえた」という安心感が、学校で「聴く力」に繋がります。

「丁寧な一歩」を褒める

宿題は「終わらせる」だけでなく、丁寧な字や間違い直しを大切に。「今日はどこが難しかった?」と一緒に覗いてみるだけで、やる気がアップします。

2. 健やかな毎日を支える「生活のリズム」

規則正しい生活は、脳を活性化させ、集中力と記憶力を支える最高のサポーターです。

「早寝・早起き・朝ごはん」

特に梅雨時期の体調管理には欠かせません。

「気持ちいい挨拶と返事」

相手を思いやる言葉遣いは、一生の宝物になります。

「メディアとの付き合い方」

スマホやゲームの時間は、親子で納得できるルールを話し合ってみてください。



学校と家庭で連携して

学習規律や生活規律は、学校だけ、あるいは家庭だけで身につくものではありません。学校と家庭が同じ方向を向いて、根気強く働きかけることで、子供達の確かな力となります。

この機会に、ご家庭での学習習慣や生活習慣を親子で一緒に見直してみたいはいかがでしょうか。